



2022 秋・キューバ友好訪問団 延期のお知らせ



CUBAPON 会員の皆さん
キューバへ連帯を寄せる皆さんへ

- キューバ革命60周年を迎えた 2019 年秋の訪問団以来、3 年ぶりとなる訪問団を計画し模索してきましたが、延期のやむなしに至りました。
理由は
 - ・ 円安と石油高により、旅行費用が前回より 10%ほど高くなること。
 - ・ 訪問のメインとなる「青年の島」への渡航フライトが、キューバ側の燃料調達事情で欠航となっており、再開は 11 月とされていますが不確定であること。との事情です。お汲みとりいただきますようご連絡いたします。
- 2019 年の訪問以来、コロナ禍、コロナ禍を利用して米国から仕掛けられた“非常戦争”に加えて、今年は、サトウガホテルガス爆発事故（5 月 7 日）、石油備蓄タンクの大火災（8 月 5 日）など大きな事故が続き、2020 年に開始した通貨改革後も途に就いたばかりで、キューバの状況はかなり深刻なようです。



フィデル・カストロセンター外観



サンタクララのゲバラ廟



行くことが一番の連帯 「2023・春」の訪問をめざします

キューバの人々は「キューバに来てくれることがなによりの連帯だ」と言います。「2023 年春の訪問団」に向けて準備を進めます。

- 実施日：2023 年 5 月（予定） 8日間
- 主な訪問地（予定）
 - ・ 新設された“フィデル・カストロセンター”を訪ねます。
 - ・ 日系人が多く住む青年の島を訪ね交流します。
 - ・ キューバ社会主義の柱“教育と医療の現場”を訪問します。
 - ・ サンタクララにゲバラ廟を訪ね、キューバ革命のバックボーンを考えます。
 - ・ 友好協会（ICAP）、労働組合中央センター（CTC）を訪ね、キューバの友人たちに連帯を届けます。

※ タイムリーに情報をご案内できるよう仮予約を受け付けております。
※ 右の連絡先まで、お知らせください。

TEL : 03-3268-4387
E-mail jvccp@rmail.plala.or.jp
IFCC(鎌田)

頑張れ！キューバ

マタンサス州石油備蓄施設で

大規模火災発生

8月5日出火、6日～延焼、12日鎮火



8月5日夕刻、マタンサス州の石油備蓄施設のタンクを落雷が直撃し、火災が発生しました。

タンクには最大容量の約50%にあたる約26,000 m³の原油が備蓄されていました。

翌6日には2つ目のタンクに延焼し、その後、火は施設内の4つの備蓄タンクに次々と燃え移りました。

この事故で消火にあたった消防隊員16人が死亡、130人余りが負傷する大惨事となりました。

12日、火は消し止められましたが、4つの備蓄タンクは全焼しました。

多くの人命が失われ、また重傷者を含む数多くの負傷者が出たことは非常に残念です。

また、膨大な原油を失ったことで、重大なエネルギー不足に見舞われることが予想されており、すでにキューバ全域で計画停電が行われています。



ベネズエラから到着した石油プラント専門消防隊

マタンサス州大規模火災の経過

- 8月5日 午後、落雷が直撃したタンクから出火
- 6日 2つ目のタンクに延焼、52,000 m³の原油消失
- 7日 空軍が出動、3つ目のタンクを冷却するため放水
1人目の犠牲者を確認
- 8日 3つ目のタンクへの延焼を確認
ベネズエラから専門チームと消火用物資が到着
行方不明者14人を数える
- 9日 空だった4つ目のタンクに延焼を確認
メキシコから救援隊と消火用化学物質が到着
- 10日 ほぼ鎮火し、冷却作業に入る
死者2人、行方不明者14人を数える
- 11日 行方不明者の捜索と身元確認作業に着手
- 12日 午前7日、消防庁が『完全鎮火』を宣言
- 19日 殉職した16人の英雄の合同葬

「キューバを救え」国際連帯の力

8月6日、ディアスカネル大統領は重大事故に伴い国際的な支援を呼びかけました。

その翌日、これに応じメキシコ、ベネズエラ、ロシア、ニカラグア、アルゼンチン、チリから援助物資が届いたほか、8日にはベネズエラから石油プラント専門の消防士が到着、9日にはメキシコの救援隊が海上から消防活動に加わりました。また、翌週にはロシアから世界最大の搭載量のタンカーが10万立方メートルの石油を積んでキューバに向けて出港した他、中国、ポリビアからも支援物資が届きました。

「連帯には連帯で報いる」。キューバが示してきた国際連帯の模範は、各国政府にもしっかり浸透しています。

CUBAPON 大規模火災支援カンパ

ご協力をお願い

重大事故に見舞われたキューバへの連帯を込めて、CUBAPON として『支援カンパ』を下記の要綱で取り組みます。

皆さまのご協力をお願いします。

記

- 金額は任意とします。
- お寄せ下さったカンパは全額、キューバ大使館を通じてキューバに送られます。
- 9 月末日まで、右の口座にお振込みをお願いします。

キューバに愛を届けよう！



【振込先】

郵便振替口座番号

00170-2-195919

口座名：日本キューバ連帯委員会



今、中南米では

中南米情勢が緊迫しています。
CUBAPON はキューバ連帯の旗を掲げると同様に、中南米の人民の闘いと状況を発信します。



● 建国史上初《左派》政権誕生！

コロンビア

グスタボ・ペトロ大統領のもと、「国が変わる！」

6月19日行われた大統領選挙に勝利したグスタボ・ペトロ大統領は、8月7日の就任式以降、精力的に政策を実行に移し、まさに日々、国が変わっています。



8月7日、グスタボ・ペトロ大統領（左）とフランシス・マルケス副大統領（右）就任

直ちに政治犯を釈放

し、国交断絶していたベネズエラと相互に大使を迎え、国交を正常に戻しました。

また、武装ゲリラ ELN との和解交渉の場をキューバに選び、再開に着手しました。武装ゲリラとの和平は、2017 年、サンチェ大統領がラウル・カストロ議長（ともに当時）の仲介で和平合意に至ったものの、その後、ドゥケ大統領により白紙に戻され、武装解除した元ゲリラ兵士の虐殺が相次ぐ中、ゲリラの再武装が進んできたものです。

国際的には米国追従、国内的には麻薬カルテルと結びついた準軍組織が暗躍するなど非常に問題の多いコロンビアが今、新しい国に生まれ変わろうとしています。



(上) コロンビア大使を迎えるベネズエラ
(下) ベネズエラ大使を迎えるコロンビア

アルゼンチン

● 司法権力による弾圧と暗殺未遂
クリスティーナ副大統領、危機一髪！

2007年から2015年まで2期にわたってアルゼンチン左派政権を率い、現在フェルナンデス政権の「左の重鎮」であるクリスティーナ・F・デ・キルチネル副大統領（写真・右）が8月23日、検察から汚職容疑で12年の禁固刑を求刑されました。

こうした汚職疑惑はエクアドルのコレア元大統領、ブラジルのルラ元大統領など、左派政治家に相次いで仕掛けられた攻撃で、それを見抜いているアルゼンチン人民は、「クリスティーナを守れ！」と自宅前に連日詰めかけ、激励行動を行ってきました。そうした中、9月1日、支持者を装って近づいてきた男が拳銃をクリスティーナに突き付ける事件（写真右：白枠内が拳銃）が起きました。幸い、銃弾は発射されず副大統領は無事でしたが、司法弾圧とあわせ、今後のアルゼンチンの動向が注目されています。



銃を突き付けられたクリスティーナ

新憲法制定国民投票「否決」・・・

チリ

● ピノチェト憲法から脱却ならず

9月4日、チリで「新憲法制定国民投票」が行われました。ピノチェト時代に制定された剥き出しの「新自由主義」の



投票前夜サンティアゴで開かれた「賛成派」の打ち上げ

象徴である旧憲法からの脱却が期待されましたが、開票率72%段階で「賛成37.80%」、「反対62.2%」と大きく引き離され、新憲法制定は達成できませんでした。

2020年に新憲法制定を求めた78.28%の人々がなぜこのような選択となったのか、ポリッチ政権の評価とあわせて、今後分析していく必要があるでしょう。

● ブラジル大統領選挙

ブラジル



ルラ（元大統領）引き続き優勢

10月2日に予定されているブラジル大統領選挙に向けて、優位に立つルラ候補（元大統領）は各地で大集会を開催して勢いをつけています。

直近の演説でルラ候補は「ベネズエラとの連帯」を訴え大きな拍手を浴びるなど、ルラの大統領復帰で南米大陸の団結がさらに進みそうな予感がします。

セニョリータのラ米★ウォッチ

中南米のホットなニュースを不定期でお届けしています。配信ご希望の方はこちらのアドレスにメール下さい！



jvccpf@rmail.plala.or.jp

TOUR OPERATOR

アイエフシー は

CUBAPON 関連の手配旅行社です

キューバをあなたに届けます

- ◆ アイエフシーはIFCC 国際友好文化センターの関連旅行会社です。“人と人との出会い”を通じた友好・交流プログラムを演出します。
- ◆ アイエフシーは文化、政治、福祉、環境分野の視察、研修、調査のプログラムをお手伝いします。
- ◆ アイエフシーはキューバなど中南米、ベトナム・中国などアジア、ドイツなど西欧、デンマークなど北欧のプランニングを行っております。

東京都知事登録旅行業第 3-3757 号

〒162-0801

東京都新宿区山吹町 316 番地 菊地ハイツ 101

TEL 03-3268-6014 FAX 03-3268-6079

編集後記

- ◆ キューバが遠くなってしまうか心配です。すさまじい為替変動、オイル高などで渡航費が高騰しています。世界は物価高であっても手厚い助成が行われ賃金も上がっています。もちろん、闘いがあるからですが。物価が上がれば賃金も上がらない国は世界で一つか？ 負けそうになりますが、連帯の火は降ろしたくありません。（鎌）
- ◆ 世界が割れてゆくような感覚を覚える今日この頃、より良い未来を求め街頭に出て声をあげるラテンアメリカの人々に励まされると同時に、大きな事故に見舞われたキューバを微力ながら励ます私たちがありがたいものです（村）